

それいけ！ やいづ号

～焼津漁港を探検してみよう～



1 焼津漁港について

- 水揚げ金額全国1位の焼津漁港 . . . 1
- 焼津地区と小川地区 . . . 2
- 漁港の種類・静岡県の漁港 . . . 3

2 焼津漁港管理事務所の仕事

- 漁業を支える仕事 . . . 4
- 人や建物などを守る仕事 . . . 5
- 楽しい漁港にする仕事 . . . 6
- 漁港を維持する仕事 . . . 7
- 他の機関が管理している施設 . . . 8
- 空から見た焼津漁港 . . . 10
- 焼津漁港の歴史 . . . 11

令和元年8月

静岡県焼津漁港管理事務所



焼津漁港について

水揚げ金額全国1位の焼津漁港

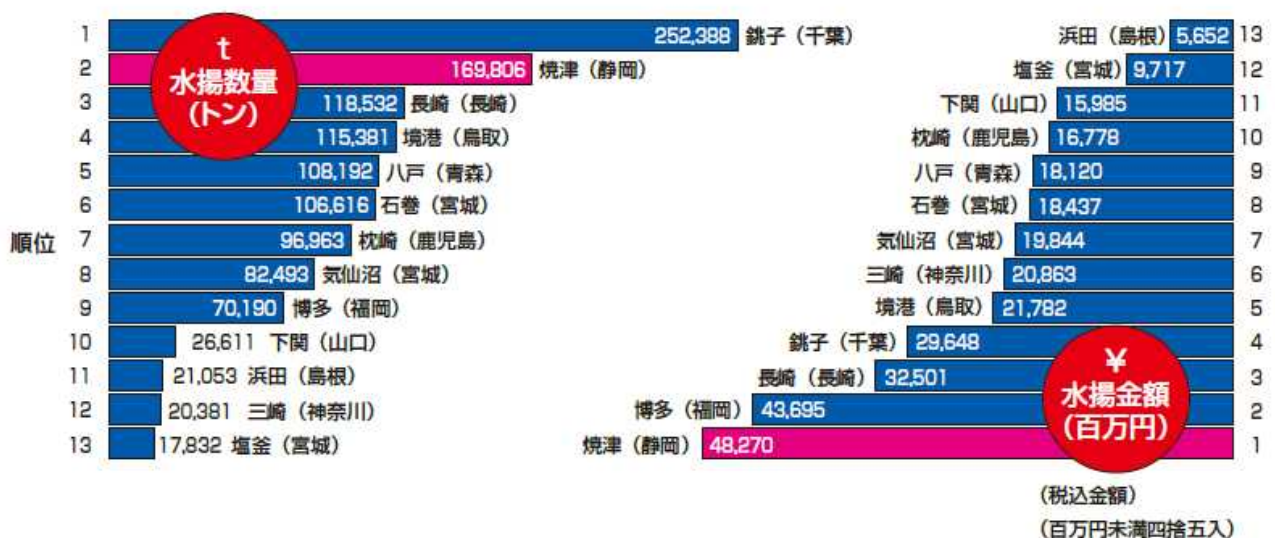
焼津漁港は、カツオ・マグロの遠洋漁業の基地として有名です。

東名高速道路や新東名高速道路を使って、東京などの大都市に早く魚を運ぶことができます。また、漁港の中の波が静かなため、安全に水揚げ（魚を船から降ろすこと）ができます。冷蔵庫や加工場などの施設が整っているため、水揚げ後もとても便利で、新鮮なうちに商品にすることができます。



このような理由で、全国から漁船が集まり、たくさんの魚が水揚げされています。平成30年の焼津漁港の水揚げ量は16万9千トン（全国2位）で、水揚げ金額は482億円（全国1位）を誇ります。

●平成30年全国主要漁港(特定第3種)水揚高



やいづ こがわ 焼津地区と小川地区

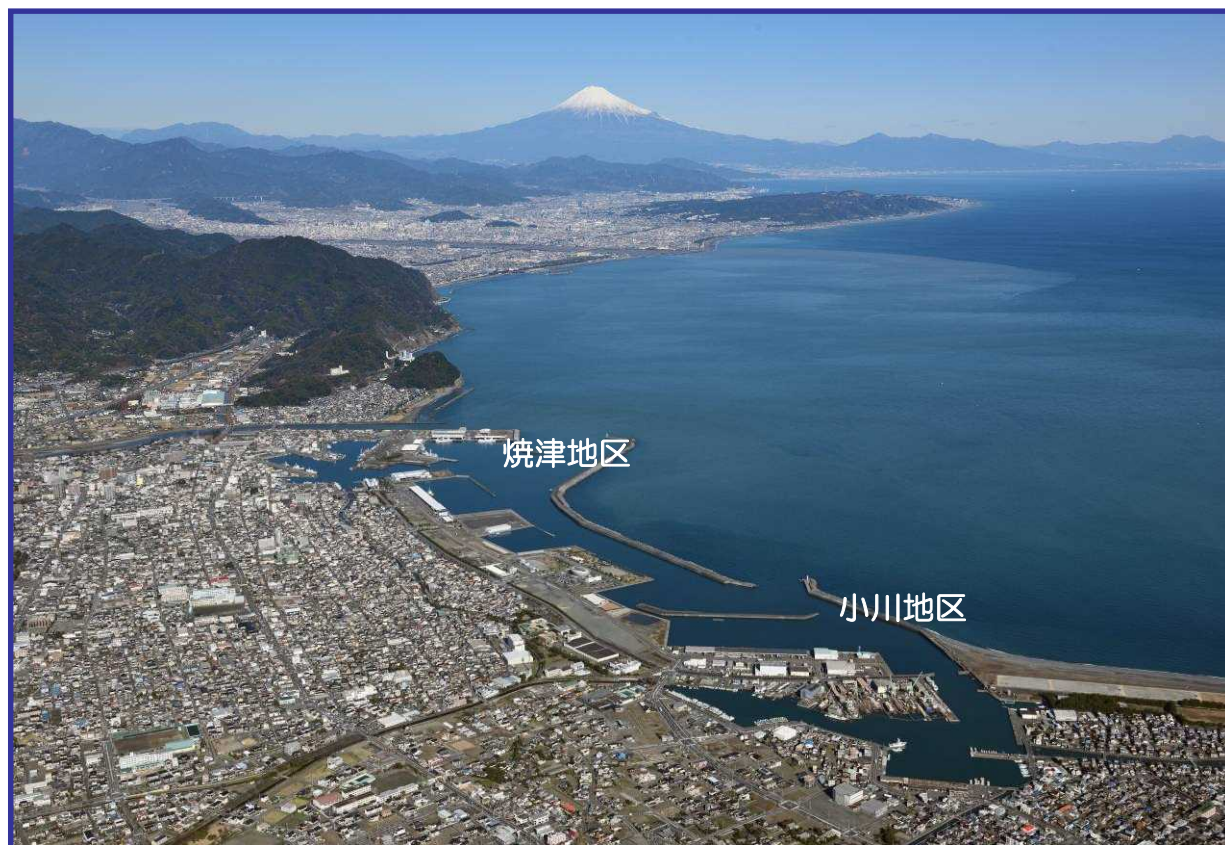
焼津漁港には、「焼津地区」と「小川地区」があります。

焼津地区

主に^{えんようぎょぎょう}遠洋漁業の基地となっていて、海外からきた大型の漁船も泊まれるようになっています。カツオやマグロが多く水揚げされます。

小川地区

主に^{えんがんぎょぎょう}沿岸漁業や^{おきあいぎょぎょう}沖合漁業の基地となっていて、サバやアジが多く水揚げされます。船の点検や修理をする造船所もあります。



遠洋漁業…遠く離れた地域（海外など）で、数週間から数か月間行われる漁業

沖合漁業…遠洋漁業と沿岸漁業の間

沿岸漁業…陸（海岸）から近い海で、日帰りで行われる漁業

漁港の種類

漁港には、魚を積んだ漁船がたくさん出入りしています。漁港とは、漁業活動の中心となる港です。漁港は、漁船の利用範囲によって、次の表のように分けられます。

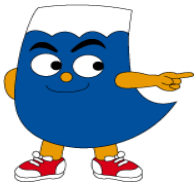
| 漁港の種類 | 漁船の利用範囲 |
|----------------|---|
| 第1種漁港 | 主に地元の漁船が利用する港 |
| 第2種漁港 | 第1種よりも広い地域の漁船が利用する港 |
| 第3種漁港 | 全国の漁船が利用する大きな港 |
| 特定第3種漁港 | <p>第3種漁港のうち、水産業を盛んにするために特に重要な漁港</p> <p>焼津（静岡県）、八戸（青森県）、塩釜・気仙沼・石巻（宮城県）、銚子（千葉県）、三崎（神奈川県）、境（鳥取県）、浜田（島根県）、下関（山口県）、博多（福岡県）、長崎（長崎県）、枕崎（鹿児島県）</p> |
| 第4種漁港 | 遠く離れた島などにおいて、急に海が荒れたときに漁船が避難したり、漁場の開発に必要な港 |

静岡県の漁港

静岡県には、49の漁港があります。

| | | |
|----------------------|--------------|----|
| ● 第1種漁港 | 伊豆半島などの小さな漁港 | 34 |
| ● 第2種漁港 | 吉田、由比など | 9 |
| ■ 第3種漁港 (特定第3種含む) | 焼津、用宗、網代、舞阪 | 4 |
| ● 第4種漁港 | 福田、妻良 | 2 |
| 合 計 | | 49 |





やいづぎょこうかんりじむしょ

焼津漁港管理事務所の仕事

漁業を支える仕事

漁業活動が安全かつスムーズに行われるように、^{がんぺき}岸壁や^{ほうはてい}防波堤などの整備をしています。

[マイナス9m^{だいすいしんがんぺき}大水深岸壁]

焼津地区外港に9mの深さがある大水深岸壁をつくりました。
大型の海外まき網船や冷凍運搬船も利用できるようになりました。



[マイナス7m^{たいしんきょうかがんぺき}耐震強化岸壁]

焼津地区城之腰に7mの深さがある岸壁をつくりました。

この岸壁は、東海地震クラス（震度7）の地震にも耐えることができます。援助物資受入の基地にもなります。



[30号道路]

市場から水産物をスムーズに運ぶために道路を広げました（4車線道路化）。たくさんの人や車が安全に通行できるようになりました。



人や建物などを守る仕事

港や船、そして港で働く人を守るための施設を整備しています。

やいづがいこうみなみぼうはてい [焼津外港南防波堤]

防波堤は海からの強い波から港を守ります。

平成14年から10年間をかけて防波堤をさらに高くする工事をしました。



写真の白い部分がその時に積んだ消波ブロックです。

つなみきんきゅうたいひしせつ [津波緊急待避施設]

地震が発生したときに、漁港で働く人たちは、この施設に登って津波から身を守ります。この施設は、漁港内に4箇所あり、現在、さらに大きい津波からも身



を守れるように施設を高くする工事を行っています。

りっこう [陸閘]

地震や津波の際に、港の外側の住宅や市民の人たちを守るため、陸閘と呼ばれる門を閉めます。焼津漁港には、全部で14箇所あります。普段は人や車の行き来のために開いています。



あんぜんじょうほうでんたつしせつ [安全情報伝達施設]



海岸で海水浴を楽しむ人や釣り人に地震や津波の情報を電光掲示板でお知らせします。

楽しい漁港にする仕事

漁業に関係する人だけでなく、たくさんの人に漁港を楽しんでもらう施設をつくっています。

しんすいひろば [親水広場 ふいしゅーな]

海に親しみ、自然とふれあうことのできる親水広場です。潮だまりや噴水、釣りができるフィッシングゾーンなど、いろいろ

と楽しめる広場です。

平成16年から工事を始め、平成21年3月に完成しました。

また、平成28年には多目的砂広場も完成しました。この砂広場では、ビーチスポーツが楽しめます



※「ふいしゅーな」は、英語で「魚」を意味する「フィッシュ」と「なかよし」の「な」を合わせてつくった名前です。焼津市の中学生が考えてくれました。

漁港を維持する仕事

岸壁や道路などの施設ができあがった後は、それらを安全に気持ちよく利用してもらう必要があります。そのために、施設の点検や清掃などを行っています。

[焼津漁港内の^{せいそう}清掃]

毎日、陸と海のゴミを集めています。清掃船「焼津丸」は、海のゴミを集めるために活躍しています。

平成30年度に集めたゴミの量は、合計41トンにもなりました。



【焼津漁港内の^{かんし}監視】



漁港の施設に壊れている部分がないかを確認するために、定期的にパトロールをしています。

また、漁港を利用する人や船がちゃんとルールを守っているかを監視しています。

他の機関が管理する施設

焼津漁港には、漁業協同組合や焼津市の施設もあります。

【^{やいづぎよぎょうきょうどうくみあい}焼津漁業協同組合の施設】

○超低温冷蔵庫

遠洋漁船で獲ったマグロは、船の上で冷凍して日本に持ち帰り、この超低温冷蔵庫（-60度）で保管されます。



○焼津魚市場 新屋売場

魚市場は、漁船から水揚げされた魚をせりなどで売るところです。水揚げのときに、魚の種類や大きさごとに分ける荷さばきもここで行われます。



こがわぎょぎょうきょうどうくみあい
[小川漁業協同組合の施設]

○小川魚市場

小川地区にある冷蔵庫や魚市場です。小川地区では、主に沿岸・沖合漁業で獲れたサバやアジを水揚げしています。



[焼津市の施設]

しんそうすい
○深層水ミュージアム



駿河湾には世界の海から3種類の深層水（深さ 200mより深いところの海水）が流れてきます。このうち、深さ397mと270mのところにある深層水を汲み上げています。

深層水ミュージアムは、展示を見ながら、駿河湾や深層水について学ぶ施設です。

○うみえ〜る焼津・アクアスやいづ

うみえ〜る焼津は、新鮮な魚貝類や水産加工品のお店、レストランがある施設です。隣のアクアスやいづは、深層水を利用したタラソセラピー施設です。



※タラソセラピー…海の良いところを生かして、心や体をいやす方法

空から見た焼津漁港



焼津漁港の歴史



昔の焼津には、漁港がありませんでした。漁で獲った魚や船の荷物は、沖にとめた本船から伝馬船てんませんで運んでいました。

浜あに揚げられた魚は、真夏でも露天に並べていたので、傷いたみやすく、何度も海水をかけるなどという苦勞がありました。

また、港がないため、台風などで海が荒れると、そのたびに船を守るため清水港ひなんへ避難しなければならず、とても大変でした。

昭和の始めころの漁船の様子



昭和の始めころの市場の様子

漁船にエンジンがつき、大きくなるにつれて、魚の水揚げ量みすあも増加しました。そのため、漁港の必要性は高まり、焼津の人たちの「港を作りたい」という願いは、いよいよ強くなっていきました。

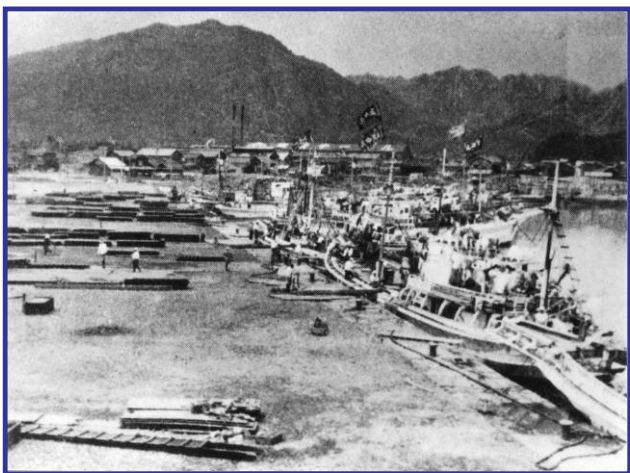
当時の焼津町長や漁師、水産関係の人たちが、何度も国や県に港をつくってほしいとお願いに行きました。そして1939年（昭和14年）、ついに港をつくることが国会で決まり、港をつくる工事が始まりました。

しかし、その後に始まった戦争のため、工事は、一時中断しなけ

ればなりませんでした。

また、焼津にあったたくさんの漁船が戦争のために使われてしまい、多くの船が沈没し、おおぜいの乗組員のりくみいんが命を落としました。

戦争が終わり、世の中が落ち着いてくると、再び漁港をつくる計画が認められ、漁港をつくる工事が再開しました。



整備中の焼津漁港

漁港づくりは、順調に進み、漁港完成前でも岸壁ができあがると、次々と漁船が水揚げを行い、水揚げ量は増えていきました。

こうして、焼津の人たちの念願だった焼津漁港は、1955年（昭和30年）に完成し、「東洋一の漁港」と呼ばれました。

焼津漁港第1船渠せんきよが完成すると、次々と遠洋漁船が集まりました。そのため、第1船渠は、水揚げする漁船や出港の準備をする漁船ですぐにいっぱいになってしまいました。

そこで、1956年（昭和31年）には、漁港を広げる工事が始まりました。そして、1966年（昭和41年）に焼津漁港第2船渠が完成しました。

その後も、大型化する漁船に対応するため、第1・第2船渠に隣接した海を埋め立てて、大型船専用の港（外港がいこう）をつくりました。

また、さらに大型の冷凍運搬船が利用できる深い岸壁や、幹線道路（※主な道路）に通じる輸送道路（※人や物を運ぶための道路）もつくりました。

このように焼津漁港は、常に進化してきました。

これからどんな姿に変わっていくのか、皆さんの目で確かめてみてください。



編集・発行

静岡県焼津漁港管理事務所

住所：〒425-0032

焼津市鰯ヶ島136-24

電話：054-628-3126

HP：<http://pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-940/>

